

旭硝子株式会社 2013年度12月期 第1四半期決算 主な質疑応答

広報・IR室

【**全社**】

Q1. 為替の影響を教えてください。

A1. 建築用ガラス事業をはじめ地産地消の事業が多いため、為替の影響は大きく受けません。

Q2. 業績予想について、上期から下期に営業利益の大幅改善を見込んでいる理由を教えてください。

A2. 第2四半期以降、全ての事業で数量が増加し、それに伴いコストダウンが進展することを見込んでいます。

Q3. 棚卸資産が2012年末と比較して増加している理由を教えてください。

A3. 為替の影響に加え、各事業において棚卸資産が増加しました。

【**ガラス**】

Q1. 欧州の建築用ガラス事業の状況を教えてください。

A1. 第1四半期は不需要期のため、出荷数量、価格とも軟調に推移しました。

第2四半期以降は季節性による需要の増加、それに伴う価格水準の回復により収益性が改善する見通しです。

【**電子**】

Q1. 液晶用ガラス基板の前四半期比の出荷、価格動向を教えてください。

A1. 出荷数量は微減、価格の下落幅は縮小しました。

Q2. 化学強化用特殊ガラス(ドラゴントレイル)の出荷動向を教えてください。

A2. 昨年第4四半期に年200億円ペースに到達し、第1四半期も順調に伸長しました。

以上